

簿記の基礎

① 簿記って何？

一般的に、「帳簿記入」の真ん中を取って略して、簿記と呼ばれています。(一つの説)
その内容は**会社や商店の活動(取引)を帳簿に記入し、報告書(決算書)を作成する為のルールのこと。**

② では何故、簿記が必要なのか？

会社では、商品を買ったり、売ったり、水道代や電気代を支払ったり、従業員の給料も支払わなければなりません。

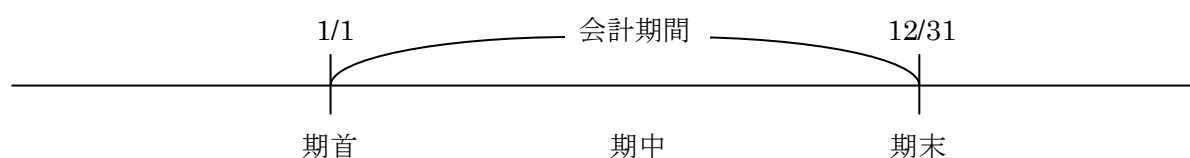
このような活動(取引)を記録しておかないと、お店や会社に現金や預金、土地などの財産がいくらあるのか、いくら使って、いくら儲けたのか等が分からなくなります。

その為に、帳簿を付ける必要があります。

③ 報告書(決算書)と会計期間

一定期間、お店や会社の財産がいくらあって、どれくらい儲けたかは、簿記によって明らかになりますが、それらを具体的に、詳細に表わす決算書類のことを財務諸表といいます。

財務諸表には、
a 貸借対照表： を表すもの
b 損益計算書： を表すものがあります。



④ 財務諸表を作って誰に報告？

まず、税務署です。それと社内(社長)、出資者、債権者、株主、投資家等に報告をします。

⑤ 帳簿記入って、帳簿になにを記入するの？

簿記を記述するには、誰が処理をしても同じになるように、勘定科目という共通の用語を用います。

<勘定科目(一例)とその内容説明>

- 現金…紙幣や貨幣などの通貨を表す勘定科目。
- 売掛金…代金は後でもらう約束で商品販売をした場合に発生する勘定科目。
- 貸付金…現金を貸付けて、返してもらう権利のある場合に発生。
- 備品…営業活動でいるもの、経理用金庫、ロッカー、応接セット。
- 建物…営業活動で使う店舗や倉庫
- 土地…営業活動で使う店舗や倉庫の敷地や、駐車場
- 車両運搬具…営業活動で使う車に用いる勘定科目。
- 買掛金…代金後払いで商品を購入した場合。
- 借入金…現金を借入れて、返さないといけない義務があるお金。
- 資本金…商売の始めの出資額(元入額)とその後「儲け」として増えた額。
- 売上…商品売買をした時
- 受取利息…預金や貸付金の利子(利息)
- 受取手数料…取引の仲介などで得たマージン
- 仕入…商品購入
- 通信費…電話代、切手代、ハガキ代
- 給料…提供してもらった労働力の対価で、従業員に支払うもの

⑥ 勘定科目の5つの分類

会社や商店は、いろいろな活動(取引)をしていますので、大きく計算単位を分類しています。
資産・負債・純資産(資本)・収益・費用の5つに分類。

→これを「**簿記の5要素**」といいます。

<簿記の5要素とその内容説明>

- a. **資産**に分類される勘定科目：
- b. **負債**に分類される勘定科目：
- c. **純資産**に分類される勘定科目：
- d. **収益**に分類される勘定科目：
- e. **費用**に分類される勘定科目：

■ 問 1 ■

下記の勘定科目を、簿記の5要素に分類し、枠内に記入しましょう。

仕入	資本金	備品	受取手数料	貸付金
買掛金	受取手形	交通費	建物	売上
借入金	福利厚生費	車両運搬具	普通預金	
受取利息	交際費	土地	預り金	給料
未払金	売掛金	支払手形	通信費	修繕費

<資産グループ>

--	--	--	--	--	--	--

<負債グループ>

--	--	--	--	--	--	--

<純資産グループ>

--	--	--	--	--	--	--

<費用グループ>

--	--	--	--	--	--	--

<収益グループ>

--	--	--	--	--	--	--

⑦ 単式簿記と複式簿記

a 単式簿記

家計簿や、お小遣い帳に使われている方式が、単式簿記。

収支だけを計算する記帳方法：() - () = ()

取引を“現金”の一科目だけで記録します。

b 複式簿記

複式簿記は、取引について、原因+結果の二つ以上の勘定科目を使用して記帳します。

例えば「現金が無くなりました。その原因は商品を仕入れたからです。」

みなさんはこれから、この**複式簿記**を、勉強していくこととなります。